

#### ＜4＞ 学生の進路支援は適切に行われているか

キャリア形成科目ならびに講座を1年次から開講し、職業意識を醸成する活動を行うとともに、資格取得を支援する講座の開講、就職情報の提供・就職に関する相談・就職試験に対する支援などを行っている。キャリア教育を検証し、さらなる充実を図ることについて、現在、共通教養教育推進担当副学長のもと、初年次導入教育検討委員会が検討を進めている。就職講座に関しては、筆記試験対策の強化を進めている。また支援プログラムに関しては、学生のニーズに基づき、学内合同企業説明会を採用情報公開時期に合わせ、2013年12月に前倒して開催した。さらに、2014年4月から湘南ひらつかキャンパスにもキャリア関係の資格を持つ者を中心に専門相談員を配置し、相談体制を充実させている。常に前年度までの状況を検証しながら、進路支援体制の強化に取り組んでいる。各教育組織との連携を強化した全学的な支援体制の確立については、2014年4月より学修進路支援委員会のもと就職支援小委員会が設置され、今後の支援策等について協議を進めている。

本学学生を採用したい企業等からの求人が検索できるオリジナル就職サイト「KUキャリアナビ」《資料VI-21》については、2013年7月にリニューアルを行い、学生がスマートフォンからアクセスできるようにした。また、求人情報を電子データで収集することにより求人情報の公開に要する時間を大幅に短縮させ、学生にとって利便性を高めることができた。

正課授業の補完と新たな専門的スキルや専門知識習得を目的に、1998年に6講座でスタートした学内資格取得講座は、学内で開講することによる廉価な講座提供を実現しており、2013年度は26講座（受講者1,306名）を開講している。就職支援といった単眼的な視点ではなく、大学生活を通じて自らの成長を実感させるものとして、または学生に自らのキャリアアップの一つの選択肢として、多様な講座を提供することは意義がある。

外国人留学生の就職支援については、一般学生と同様な支援に加えて、外国人留学生対象の就職ガイダンスを開催し、インターンシップへの参加を促している。障がい学生の支援については、教育支援センターとも連携しながら、一般的な就職支援に加え、障がい学生対象のガイダンスを開催し、参加学生との個別面談を通して個々の状況に応じた支援を進めている。

卒業後の就職支援については、在学時と同様の支援体制に加えて、卒業後の就職支援希望者には、定期的に既卒対象求人情報を提供している。